



レイカディア大学 サポートの会広報誌

シニアの学び舎

No.54
2024.9.4

レイカディア大学日より 草津キャンパス

シニアが新しい教養と技術を身につけ、地域の担い手として登場できるよう支援しています



園芸学科



陶芸学科



絵付け体験

7月25日～27日
大学祭 2024
はばたけシニア、生き生き楽しく！



園芸学科



野菜販売



びわこ環境学科



大正琴教室



地域文化学科



健康づくり学科



ステージ演芸

コロナ渦以降2回目の大学祭。特にステージ演芸では、在学生の演目が昨年の倍以上（7件）披露され、最後は恒例の江州音頭で大いに盛り上がりました。



「近江古墳周遊会を立ち上げて」

シニアと呼ばれる頃には好きなことをして暮らしたいというのが長年の願いでした。以前から古代史や渡来人、朝鮮半島に関心を持っていた私は、4年前からのコロナ禍で仕事が激減した中、体力維持も兼ねて近江の遺跡、特に古墳を見て歩くようになりました。元々琵琶湖を含む滋賀の地に愛着を感じていた自分には驚きの連続でした。そんなとき高校の同級生がレイ大の学生生活を話してくれ、一にも二にも地域文化学科に興味が湧きました。ただ、レイ大のクラブ活動については、スポーツ・芸術系のクラブはそれなりに充実していると思う反面、人文系のクラブは城郭探訪ぐらいしかなく少し寂しいなという思いがありました。どのみちレイ大に入るならいっそのこと古墳クラブを自分が立ち上げてみようかと思いながら入学しました。



学芸員さんから古墳上で解説
(和田古墳群5号墳)



博物館にて発掘品の学習
(東近江市埋蔵文化財センター)

本年1月にクラブ創設届けを大学に出し、早速活動を始めました。幸い現在10数名の方に入会して頂いています。この歳になると新鮮な驚きに接することが少なくなるのが普通ですが、ほとんどのメンバーが『墳活』という古墳巡りは初めてのようで、月に1回の例会を楽しみにしておられます。埋蔵文化財センターの学芸員さんの話に熱心に耳を傾け、自分なりの疑問をぶつけてみたり、あんな大きくて重い石棺を九州の阿蘇からどうやって近江にまで運んできたのかと驚いたり、古墳の形がさまざまなのはどうしてなのか、などメンバー同士で話し合ったりすることに興じています。

私も、仲間との触れ合いを通して、また別の新たな発見が得られることに充実感を感じています。1500年前の祖先の人々に出会う活動を今後も続けていくつもりです。

近江古墳周遊会代表 田井 敏雄 (45期地域文化学科)



古墳に入って現地学習
(猪子山古墳群23号墳)



古墳内部で石棺を見学
(甲山古墳)

学科紹介

45期びわこ環境学科

★ 笑いの絶えない気の合う仲間



もっと琵琶湖のことが知りたくて集まったシニア達。当初は遠慮がちに話していましたが、校外学習やイベントを通じて、メンバーとの触れ合いが活発になり、絆も深まり、今では笑いの絶えない気の合う仲間となりました。

MLGs (マザーレイクゴールズ) のロゴを入れたTシャツをお揃いで作り、校外学習やイベントに参加し、10代の学生時代よりも今のほうが楽しくて充実しています。

びわこ環境学科は、琵琶湖を取り巻く自然と環境について学びます。校外学習の多さが特徴で、「針江生水の郷」で川端(かばた)を利用した独自の水の文化を今に伝承していることを知り、「栗東自然観察の森」でリラックスできる森林セラピーを実感し、「醒井養鱒場」でイワナの採卵・人工授精の実習を行い、「醒井地蔵川」で梅花藻(バイカモ)を観察しました。

また「草津クリーンセンター」の見学では、家庭でのゴミ分別の必要性を感じ、「あいとうエコプラザ」では、琵琶湖の汚染状況の歴史から愛東町でスタートしたエコプロジェクトの状況や愛東町民の取り組みを学びました。

滋賀に住んでいながら知らなかった滋賀に気づき、向上意欲のある素晴らしい仲間たちと、眼を輝かせながら次から次へと新しいことを学び、これからも琵琶湖を大切に守っていきます。

45期びわこ環境学科 学科長 坂本 康之



揃いのユニフォームで「ニュースポーツ大会」に挑戦！結果は？



【栗東自然観察の森】



【高島市針江生水の郷】



開会式の後、みんなでラジオ体操!

ポッチャとは、ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールをいかに近づけるかを競うスポーツです。大接戦！白いボールに、近いのはどちらかな？

青ボールの勝ち？



コンパスで計測して白ボールに近いのはどちらかを判定！



がんばるぞー



得点表

園芸A	園芸B	陶芸	保健	地文	健康
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●



得点表

園芸A	園芸B	陶芸	保健	地文	健康
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●
●	●	●	●	●	●

第6回レイカディア大学陶芸作品展

★燃えよ陶芸魂★

2年に一度の「陶芸作品展」開催

滋賀県立美術館 5月14日～5月19日
出展者：22期生～現役の45期生まで167名

来場者は773名と大盛況となりました。卒業生・在学生在が一体となつての「陶芸の繋がり」に心が熱くなり、今後も未永く継続されることを願っています。

取材／浅井・熊谷・野村



レイカディアの日 2024

びわこ地球市民の森 竹林整備等ボランティア活動



開会宣言 さあがんばろう



竹やぶ隊



雑木林隊



のんびり弁当タイム



モリックゲーム

5月23日、県営都市公園「びわこ地球市民の森」(守山市)において、レイ大草津キャンパスサポートの会「地域活動部会」主催による竹林整備等のボランティア活動が行われました。近年、コロナ禍で中止や規模縮小になっていましたが、コロナの5類移行により、今年はコロナ以前に迫る規模(レイ大在学学生有志79名、サポートの会メンバー69名)で開催されました。

地域活動部会の井上部会長の開会宣言に始まり、サポートの会奥村代表の挨拶、「びわこ地球市民の森」森づくりセンターの平塚所長による作業説明の後、7班に分かれ、竹やぶと雑木林の間伐作業を行いました。

竹やぶの方は、手で握れる程度の細めの竹を間引きします。竹を切る人、それを運び出す人と手分けし、最後は竹やぶも風通しが良くなりました。雑木林の方は、予め指示された木を数人で代わる代わるノコギリを引いて切り倒しました。中には10メートルを超える木もあり、切り倒した木の枝払いも大変でしたが、こちらも雑木林がすっきりしました。

昼前に作業を終えてお弁当を頂き、午後は以前のバーベキュー大会に代わる初の試みとして、「モリック：正式名称モルックの地球市民の森版」というゲームを行いました。用具は地域活動部会の会員が間伐材を用いて手作りしたそうです。皆、童心に帰って和気あいあいとプレーし、大盛況だったと感じました。

最後に、森づくりセンター平塚所長から「来年もまたお願いします」とのお言葉をいただき、全員けがなく、活動を終わることができました。来年も楽しく頑張らしましょう。

体験取材／熊谷・須田・竹脇・八田



モリック用具

アンケート

★ 第13期サポートの会 地域貢献活動調査のまとめ ★

この調査は、レイ大と協働して学生の支援を行うサポートの会の「地域活動部会」が草津キャンパスの卒業生に対し毎年アンケート調査を実施しているもので、今回が9回目となります。

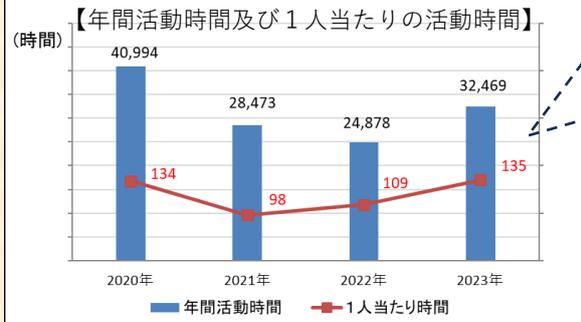
調査の目的は、地域で活躍している卒業生の地域貢献活動実態把握と、レイ大の存在意義を明らかにするために実施しています。

今期より、趣味の活動や生涯学習、今後生かしてみたいスキルについても別シートにて記入していただいています。

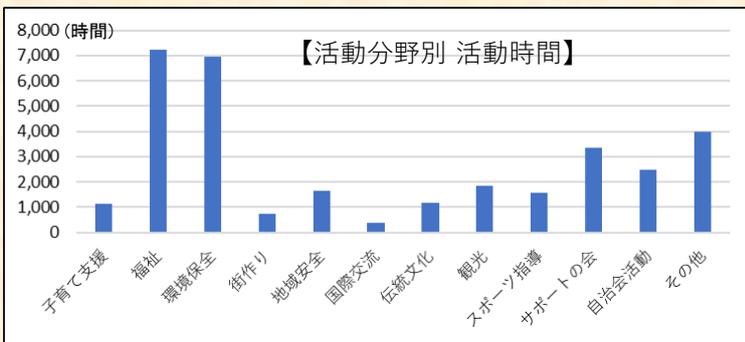
アンケート調査結果で記載しているように、卒業生の地域貢献活動時間および一人当たりの活動時間は前年より増加しており、卒業生の地域活動が継続されている実態を確認することができ、本調査は大変意義があったものと考えます。

詳細は、サポートの会ホームページに掲載していますので、是非ご覧ください。⇒⇒⇒

地域活動部会 アンケート委員会



コロナの5類移行により、地域活動量に回復傾向が現れています。



発行：滋賀県レイカディア大学 草津キャンパス サポートの会
 編集：草津キャンパス サポートの会 広報情報部会
 〒525-0072 滋賀県草津市笠山 7丁目 8-138
 県立長寿社会福祉センター内
 TEL：077-567-3901 FAX：077-567-3906
<http://lacakusatsu.com/1-supportai/index.html>



編集後記：

当初は、編集に関して知らないことばかりで戸惑いましたが、第13期のメンバーの協力で無事に1年間4回の広報誌を発行できました。寄稿頂いた方や取材をさせて頂いた方、関係者の皆様のご協力に心より感謝いたします。

次号55号からは、第14期に引き継ぎます。今後とも、『シニアの学び舎』をよろしく願いたします。(T. Y)